

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果について

廿日市市立四季が丘小学校

平成31年4月18日に実施された平成31年度全国学力・学習状況調査（学力テスト）の結果と分析について、次の通りお知らせします。

本調査は、教育の成果や課題を確かめ、改善するために、小学校では6年生を対象に平成19年度から実施されています。今年度の教科に関する調査については国語及び算数で実施されました。

◆教科に関する調査

平均正答率（％）

	国語	算数
四季が丘小学校	70.0	71.0
廿日市市	67.0	68.0
広島県	66.0	68.0
全国（公立）	63.8	66.6

国語・算数ともに、全国・県・市の正答率を上回り、安定した学力を身に付けることができています。領域別に見ると、国語科では「書くこと」、算数科では「量と測定」において、若干の課題が見られました。

◆生活習慣や学習環境に関する調査（主なもの）

児童数の割合（％）

質問事項	四季が丘小	広島県	全国
朝食を毎日食べていますか。	94.6	95.6	95.3
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	83.6	83.0	81.4
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	96.4	92.3	91.6
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	76.4	74.5	71.5
家の人と学校の出来事について話をしますか。	83.6	79.3	77.4
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	81.8	70.8	68.0
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。	52.7	60.0	54.7

子どもたちの生活習慣と学力とは密接な関係があります。子どもたちの教育は、学校だけでなく、学校・家庭・地域社会がそれぞれの適切な役割分担を果たしつつ、連携・協働して行われることが重要です。「早寝・早起き・朝ごはん」「家庭学習」「地域連携」は学力向上と大きくつながっています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校では、これらの結果を受け、現状に満足することなくよりよい学校教育が行われるよう、全教職員で共通理解を図りながら授業改善を進めてまいります。

学習においては・・・

- ・既習事項をもとに粘り強く問題を解くことを続けます。
- ・自分の考えを相手に分かりやすく伝えるための工夫を取り入れます。
- ・自分の考えや学んだプロセスを意味付けながら説明できるように指導します。



国語 「書くこと」の力を高めるために

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にするとともに、文章全体の構成や展開を考えながら書くことを指導します！



「誰に何を伝えたいのか」といった目的を明確にした上で、どのような理由や事例を挙げて自分の考えをまとめるのかを考えて書くように指導します。

また、主語・述語の関係に着目し、適切に照応させて文を正しく書く力を身に付けさせます。



低学年では、事柄の順序を考えながら日記や手紙を書くこと、中学年では、段落のつながりを考えながら案内文や〇〇新聞を書くこと、高学年では相手意識・目的意識を明確にしなが意見文等を書くことを取り入れます。

時には文字数を制限して自分の考えをまとめることにもチャレンジします。



「書くこと」と「読むこと」は密接なつながりがあります。お子さんが図書室で借りた本についてご家庭で話をする時間をつくってください。本の世界を通じ、たくさんの言葉から語彙を豊富にし、書くことへの意欲につなげます。

音読の宿題を聴いていただく時も話をふくらませてみてください。

算数 「量と測定」の感覚を高めるために

図形の性質や構成について着目し、面積や体積の求め方を言葉や数を用いて書いたり、説明したりします！



図形の面積や体積を求める時に、図形の構成についての見方を働かせ、既習の求積公式を活用して求めることができるようにします。単に公式を暗記しているのでは使えません。また、数や式の意味を図形の構成要素と関連付けることを大切に指導します。



自分の考えを説明する際に、低学年からICTを効果的に活用して、分かりやすく伝える活動を積極的に取り入れます。自分の考えに自信をもって話すことができるよう、ペアトークやグループトークを意図的に取り入れるとともに、安心して学び合える学級をつくります。



図形に対する見方や考え方を豊かにするために、積み木やタングラムなどを使って遊ぶことも有効です。生活の中で重さや距離を体感する会話も取り入れてみてください。親子で楽しみながら遊ぶことが、図形や量と測定の認識を高めることにつながります。